

第4号様式（第10条関係）

会 議 録（要 旨）

会 議 名	第2回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会
開 催 日 時	平成22年 7月12日（月）午後6時30分 ～午後8時45分
開 催 場 所	緑が丘ふれあいセンター男女共同参画センター学習室
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：（委員）足立幸夫、榎本茂子、小川榮子、重野吉幸、関根明美、高橋眞澄、東宮玲子、森林育代、渡辺真紀子（欠席者）栗原誠（事務局）地域振興課長、地域振興課主査、地域振興課主事
報 告 事 項	1 緑が丘ふれあいセンター施設の見学について 2 第1回男女共同参画推進市民委員会の会議録について 3 男女共同参画公開講座について 4 その他
議 題	1 情報誌「YOU・I」第22号の発行について 2 第11回YOU・Iフォーラムについて 3 女性センター等視察について 4 第5回村山デエダラまつり出展について 5 その他
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	第2回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会 議題1 情報誌「YOU・I」第22号の発行について ・誌面構成は表紙を充実させ、A3用紙1枚とする ・特集テーマは「イクメン」とする。 議題2 第11回YOU・Iフォーラムについて ・開催日は、平成23年2月6日（日）又は3月6日（日）とする。 ・講師候補は、山田正人さん、安藤哲也さんとし、事務局で調整する。 議題3 女性センター等視察について ・第4回会議で議論する。 議題4 第5回村山デエダラまつり出展について ・第4回会議で議論する。 議題5 その他 ・第3回会議（公開講座） 8月30日（月）午後6時から開催する。 ・第4回会議 9月13日（月）午後6時30分から開催する。
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) (発信者) ○印：委員 ●印：事務局	第2回武蔵村山市男女共同参画推進市民委員会 議題1 情報誌「YOU・I」第22号の発行について ○ 情報誌に興味を持ってもらう手段として、講座に参加した人の座談会や、驚くような人からメッセージを寄せてもらうなどが考えられる。また、40周年を迎える5市の担当者等で話し合いをし、情報誌に載せてはどうか。 ○ 情報誌のページ数によって、特集の掘り下げ具合が変わってくると思う。 ○ ここ1年の情報誌は面白みに欠ける。ページが多かったときのほうが内容が濃く興味が持てた。表紙を工夫すれば、記事のスペースが増えるのではないかと。誌面構成（案）では特集2ページになっているが、1ページではないかと。特集のほか、利用者の座談会や市内で活躍しているNPOの紹介、講座等の報告を載せてはどうか。講座の告知はあっても報告がないので、成功だったのか失敗だったのか分からない。そこに参加者の声があれば、次につながるのではないかと。 ● 色紙を購入する予算は限られているので、今の発行部数のままでいくなら、白い紙で代用することとなる。

- 他市のように、カラーで印刷できないのか。情報誌をホームページで見るときれいだが、配布している情報誌はいい情報が書いてあっても手にとらない。
- 印刷の予算がない。昨年度の委員会でも意見としてあった。しかし、カラー印刷にしたからといって手にとるというわけでもないと思う。確かに8頁だったときは内容も充実していた。市民インタビュー等も取り入れられ、身近な情報誌となりよかったと思う。4頁だと誌面構成が難しく、伝えたい情報をうまく載せられていない点はある。
- 市民にとって身近な情報誌という原点を大事にするべきである。
- 来月の公開講座で、アンケートをとり、その結果を載せる。若しくは座談会を開催し、記事にするなど会場の声を聞くことが大事ではないか。
- 第17号では、頁数もあったので、講演会の報告を載せるなどした。
- 第22号、第23号の担当で5人ずつ分かれて、その担当委員でテーマを設定した方がいいのではないか。
- 多くの人に読んでもらうため部数を増やしたいのは分かるが、現状ラックに情報誌は残っている。部数を増やすより、内容を充実させるべきではないか。
- A3用紙1枚とA4用紙1枚を組み合わせるのはどうか。今年は内容を充実させるために6頁とし、評判が良ければ部数を増やすことも検討したらどうか。
- 昨年度までの情報誌を見て気になった点がある。タイトルは横文字で裏表紙は横書きが主である。そういった場合、左開きになるのではないか。
- 中の文面は縦書きであるため、右開きである。
- 縦書きだと堅い印象があり、逆に横書きだと比較的軟らかく受け止められるという特徴がある。横書きだと親しみを持てる。
- 毎号で左右が変わらなければどちらでもいいと思う。今後横書きでいくのであれば、構わない。
- 横書きだと高齢者には伝わりづらいかもしれない。
- 今号から横書きにし、6頁にしてみてもどうか。
- 実際、真ん中に1枚入っていたら見づらいと思う。
- 表紙から記事を入れるなど工夫し、A3用紙1枚にしたらどうか。
- インターネットの普及で、横書きに慣れていると思う。また、タイトルに自分の興味があるものであれば、手にとってもらえる。
- 情報誌の対象はどうなのか。
- フォーラムに参加する世代は50歳代以上だが、情報誌の年齢層まで把握していない。
- 昨年度のフォーラムでは、若い世代も参加していた。
- 配布先である各施設の情報誌残数を調査した結果、若い世代に読んでほしい内容であっても、手にとってもらえていないことが伺えた。
- 講座の参加者へ配布したり、若い世代のサークル活動時に渡したらどうか。やはり確実に手渡すことが大事だと思う。
- 情報誌の対象によって中身は変わってくる。若い世代では、相談する相手がない。そういった内容で若者が引かれる言葉はないか。
- 男女共同参画をもっと若い世代に知ってもらいたい。
- 若い世代に向けてということなら、誌面を横書きにしたらどうか。
- テーマを決めて、執筆分担をしたほうがいいと思う。
- 男女共同参画というと多くのテーマがあるので、みんなに注目して読んでもらうというのは大変である。若い世代の子育てをしている人向

け、高齢世代向けというように対象を各回で分ければもっと充実し、目もひくのではないか。

○ 誌面構成だが、今号から左表紙の横書き中心でいいのではないか。頁数については、表紙から充実させ、昨年同様A3用紙1枚の二つ折りでもいいのではないか。

－異議なし－

○ 22号の担当を決めたいがどうしたらよいか。

○ 特集の方向性を決めてから、担当者を決定したほうがいい。また、次の号との統一性を持たせたほうがいい。今年度は、どんな人を対象にどんなことを伝えていくかの筋道をつけ、明確にするべきである。

● YOU・Iフォーラムの開催を2月若しくは3月を予定している。筋道として、フォーラムを年間テーマのゴールとすれば、自ずと情報誌のテーマも見えてくる。

議題2 第11回YOU・Iフォーラムについて

● 講師の予定を確保する必要があるので、講師は決めてもらいたい。

○ 男女共同参画推進のテーマだけで話してもらうのか、男女共同参画に興味を持ってもらうために幅広いテーマで話をしてもらうのだろうか。

○ 何を目指すのかによって変わってくる。大きなテーマにするのか、地域に身近なテーマにするのか。

○ 男女共同参画をメインに押し出すと、難しくとらえられ、参加者が集まりづらくなってしまうと思う。

● できるだけ多くの人に参加してもらい、男女共同参画について少しでも知ってもらいたいということで、テーマを幅広くとらえフォーラムを実施したが、アンケート結果を見ると、もっと男女共同参画について知りたいという意見も多数あった。

○ 落合恵子さんがいい。ジャンルも広いので、もう一度講演してもらいたい。

○ 若い世代に参加してもらいたいと考え、「イクメン」をテーマに選び講師を考えた。現在、横浜市副市長の山田正人さんはどうか。著書を読んでみたが、自分が育休を取り、初めて女性が育休をとることで辛い思いをしていることを知ったと書かれていた。そういった思いを発信するには男性の力が必要だと感じた。女性だから、男性だからではなく、育児をしている人は社会から孤立を感じがちということを伝えられるのではないか。

ほかには、男女共同参画という堅いイメージではなく、ビジネスの指南的な観点から男性も引き付けられるのではないかと思ひ、東レ経営研究所代表取締役である佐々木常夫さんはどうか。また、同じく東レ研究所の渥美由喜さんも育休取得者であり、ワーク・ライフ・バランスの専門でありいいかと思った。

○ キーワードとして「イクメン」がいいと思う。

○ イクメンは厚生労働省でも「イクメンプロジェクト」を始動するなど、今注目を浴びている。

○ 育休取得者である山田さんから苦労話等が聞けたら、興味を持てるのではないだろうか。

● 講師の都合もあるので、候補を何人かあげてもらいたい。また、前回会議で2月6日、2月13日、3月6日のいずれかで開催したいという話をしたが、2月13日の小ホールは空いているが保育室が確保できないため、候補日から外してもらいたい。

● 事務局案としては、婚活という言葉を作りだした山田昌弘さんはどう

	<p>か。若い世代からその親の世代まで対象となり、また、男性からの視点で話が聞けていいのではないかと考えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 男性の視点から男女共同参画を話してもらおうという意見が出たが、非常に重要だと思う。 ○ 賛成である。男性も参加しやすい。 ○ イクメンでいくなら、安藤哲也さんがいい。男性が楽しく子育てをし、会社と社会を変えていくという視点で話してもらいたい。市内の保育園や幼稚園に広報し参加を促すことができるのではないかと。 ○ スケジュールが可能なら、2人に出てもらいシンポジウムのようにしたらどうか。 ○ 2人とも厚生労働省のイクメンプロジェクトのチームの一員である。 ● 日程と予算が合えば可能である。山田さん、安藤さんのほかもう1人くらい候補をあげてもらいたい。 ○ 育休取得者である渥美さんはいかがか。 ○ 今、急には出てこないと思うので、第3希望以降は事務局に一任、若しくは自宅に戻ってから案があれば事務局に近日中に伝えてもらいたい。 ● 情報誌のテーマも「イクメン」となるので、分担を決めてもらいたい。 <p>－調整－</p> <p>22号担当：足立委員、榎本委員、小川委員、関根委員、東宮委員 23号担当：栗原委員、重野委員、高橋委員、森林委員、渡辺委員</p> <p>議題5 その他（次回会議開催日程）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 第3回会議（公開講座）の日程は既に決定しているので、第4回会議の日程を9月で決めてもらいたい。 <p>－調整－</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 第3回会議（公開講座）は8月30日(月)午後6時から、第4回会議は9月13日(月)午後6時30分から開催する。
--	---

<p>会議の公開・非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開</p> <p>※一部公開又は非公開とした理由</p> <p style="text-align: right;">傍聴者： _____ 0 人</p> <p style="font-size: 2em;">[]</p>
--------------------	---

<p>会議録の開示・非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示（根拠法令等： _____) <input type="checkbox"/> 非開示（根拠法令等： _____)</p>
---------------------	--

<p>庶務担当課</p>	<p>市民生活部 地域振興課 (内線： 225)</p>
--------------	-------------------------------

(日本工業規格A列4番)